



医歯学総合研究科大学院特別講義／お茶の水ニューロサイエンスセミナー

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

新規プリオン病髄液診断法 RT-QUIC の感度と特異度

演者 西田 教行 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・感染免疫学講座

日時 2013年3月28日(木) 12:00～

会場 医科新棟5階 症例検討室

講演要旨

プリオン病の補助診断法として、髄液中 14-3-3 蛋白は有用であるが特異性に劣る。確定診断のためには異常プリオン蛋白を検出する必要がある。髄液中の異常プリオン蛋白は通常の ELISA 法、ウェスタンブロット法では検出できない。我々は異常プリオン蛋白を効率よく試験管内にて増幅する方法を開発し、髄液中の微量の異常プリオン蛋白を検出しうる検査法を確立した。本検査法の開発経緯、感度・特異度等について紹介する。

多数の皆様のご来聴を歓迎いたします。

連絡先：脳神経病態学分野 水澤 英洋 (Tel:03-5803-5233)

共 催：東京医科歯科大学脳統合機能研究センター

ONSA (代表：脳神経病態学分野 水澤英洋)

事務局：神経機能形態学分野(田口・寺田) Phone: 03-5803-5149, Fax: 03-5803-5151

E-mail: onsa-office@umin.ac.jp